

災害発生時の議員行動マニュアル

3 行動時の留意事項

- (1) 災害情報の提供及び要望等は、原則、市対策本部へは直接行わず、支援本部を通じて行うこと。
- (2) このマニュアルに定めるもののほか、必要な事項は、支援本部で協議のうえ決定する。

1 目的

このマニュアルは、松江市議会災害発生時対応要領（平成27年1月29日制定。以下「要領」という。）に定めた松江市議会議員（以下「議員」という。）の活動等について具体的な行動マニュアルを定め、大規模災害発生時の災害対応を行うものとする。

2 行動基準

- (1) 災害発生時
 - ① 議員は、自身や家族等の安全を確認し、速やかに安全な場所へ避難する。
 - ② 議員は、松江市議会災害対策支援本部（以下「支援本部」という。）の指示があるまでは、自宅付近の被害状況及びテレビ・ラジオ等の情報により各自で状況を判断し、行動する。
- (2) 初動体制（災害の発生後おおよそ1日ないし2日目）
 - ① 議員は、市内において地震等による大規模な被害が確認された場合は、電話その他の方法により、支援本部に安否及び居所又は連絡場所を報告し、以後の連絡体制の確立と維持に努める。
 - ② 議員は、通信手段の断絶等により上記の連絡が不可能な場合は、支援本部においても可能な限り議員の状況の把握に努めることから、むやみに移動せず、自宅又は自宅付近の避難所等にとどまり、支援本部からの連絡を待つものとする。
- (3) 応急体制（災害の発生後おおよそ1週間以内）
 - ① 議員は、自身の安全を最優先とした上で、各地域における被災地及び避難所等において情報収集を行い、支援本部へ報告する。
 - ② 支援本部は、各議員からの情報を集約し、松江市災害対策本部（以下「市対策本部」という。）に必要な情報を提供する。
 - ③ 支援本部は、市対策本部の情報収集に努める。
 - ④ 上記情報について、支援本部で集約し、各議員へ提供する。
- (4) 復旧体制（災害の発生後おおよそ1週間以降）
 - ① 議長は支援本部で協議のうえ、必要に応じて全員協議会を招集し、各地域で活動している議員は可能な限り会議に参加する。
 - ② 支援本部は、被害状況の実態を把握するとともに、必要に応じて今後の議会の対応について協議する。

国際文化観光都市 **松江市** Matsue City, Shimane

[ホーム](#)
[本文へ移動](#)
[Foreign language](#)
[読み上げ](#)
[ふりがな](#)
[背景色](#)
[白](#)
[黒](#)
[黄](#)
[文字サイズ](#)
[標準](#)
[拡大](#)

[総合メニュー](#)
[暮らしのガイド](#)
[事業者向け情報](#)
[市政情報](#)
[観光情報](#)

観光情報 外部サイト

総合メニュー > 暮らしのガイド > 文化・スポーツ > 文化財 > 松江城 > 松江城天守の国宝指定について

松江城天守の国宝指定について

概要

松江城天守は、平成27年5月15日の国の文化審議会において、国宝に指定するよう文部科学大臣に答申がなされましたが、同年7月8日の官報告示により、正式に国宝に指定されました。

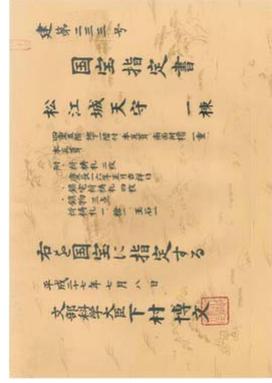
名称及び員数

松江城天守1棟

構造及び形式

松江城天守

四重五階、地下一階付、本瓦、南面附櫓一重、本瓦葺。



附（つげたり）

- ・折蒔札2枚 慶長十六年正月吉祥日
- ・鎖宅折蒔札4枚
- ・鎖物3点 折蒔札1、櫓1、玉石1

附（つげたり）指定の歴史及び写真（pdf: 2.58KB）

市長コメントー松江城天守の国宝指定についてー

本日（平成27年7月8日）官報告示があり、5月15日の文化審議会において国宝指定が答申されていた松江城天守が、正式に国宝に指定されました。併せて折蒔札(きとうふだ)2枚、鎖宅折蒔札(ちんたくきとうふだ)4枚、鎖物(しずもの)3点も附指定(つけたりしてい)となり、この決定に際して、市民の皆様、また関係の皆様方とともに喜びを分かち合いたいと思えます。

今後、松江市では、文化財としての松江城の保存管理と整備活用に努めながら、引き続きいて天守の学術調査に取り組み、松江城の価値を更に高めて発掘してまいります。

また、市民の皆様への場であるとともに、多くの観光客を迎えるおもてなしの場として、一層快適な空間となるよう、適切な整備にも取り組んでまいります。

更には、松江城だけでなくとどまらず、城下町としての歴史的な資産と景観を最大限に活かし、特色と活力に溢れたまちづくりを進めてまいります。

こうした取り組みを市民の皆様との共創として、ともに手を携えて推し進めることとし、国宝松江城に相応しいまちづくりを進めたいと考えます。

皆様へ、なお一層のご支援とご協力を申し上げます。

平成27年7月8日

松江市長 松浦正敬

松江城の国宝指定と調査研究の経過

- ・松江城の国宝指定と調査研究の経過（PDF:4.46MB） **NEW!**

お問い合わせ

歴史まちづくり部 まちづくり文化財課

電話：0852-55-5956（歴史まちづくり係）、0852-55-5387（県輔政策係）、0852-55-5294（文化財保護係）/ファックス：0852-55-5658/メールアドレス：machi-bun@city.matsue.lg.jp

お問い合わせ

歴史まちづくり部 松江城調査研究室

電話：0852-55-5594/ファックス：0852-55-5495/メールアドレス：matsuejou@city.matsue.lg.jp

[ページの先頭に戻る](#)

[サイトについて](#) | [個人情報の取扱いについて](#) | [著作権・免責事項・リンク集](#) | [ウェブアクセシビリティについて](#)

松江市役所

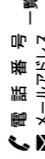
〒690-8540 島根県松江市末次町86番地

電話：0852-55-5555（代表）

開庁時間：8時30分から17時15分



庁舎位置図



電話番号 一覧
メールアドレス



組織機構図
事務分掌一覧

松江市ホームページはプログラム言語「Ruby」で構築されています。

Copyright (C) Matsue City, All Rights Reserved.

松江城の国宝指定と調査研究の経過

(平成30年度未迄)

昭和10年(1935)	S10	5月13日	ビック	国宝保存法により松江城国宝指定
昭和25年(1950)	S25	5月	ビック	文化財保護法施行により松江城重要文化財指定
	S25	6月1日	ビック	松江城解体修理着工
昭和26年(1951)			ビック	松江市が国に国宝指定の陳情
昭和30年(1955)			ビック	松江城解体修理竣工、修理報告書刊行
	S30	3月	ビック	松江市が国に国宝指定の陳情
昭和34年(1959)			ビック	市議会が「国宝指定促進の決議」、国に陳情
平成18年(2006)	H18	2月28日	本	『お殿様の御成り—近世松江藩と本陣—』 発行 (小林准土著、松江市ふるさと文庫1)
平成20年(2008)	H20	3月	ビック	市長、市議会で松江城国宝化に向けて市民運動の議成を提唱
	H20	3月30日	本	『堀尾吉晴と忠氏—松江開府を成し上げた武将たち—』 発行 (佐々木倫朗著、松江市ふるさと文庫4)
	H20	11月9日	本	『城下町松江の誕生と町のしくみ—近世大名堀尾氏の描いた都市デザイン』 発行 (松尾 寿著、松江市ふるさと文庫5)
平成21年(2009)	H21	1月17日	本	『堀尾吉晴—松江城への道—浜松、富田、松江城普請の軌跡—』 発行 (山根正明著、松江市ふるさと文庫6)
	H21	3月	ビック	市長選マニフェストで「松江城国宝化」運動を発表
	H21	8月	ビック	「松江城を国宝にする市民の会」設立準備会
	H21	8月	報告会	「松江城を国宝にする市民の集い」開催
	H21	9月17日	ビック	「松江城を国宝にする松江市民連盟」設立
	H21	9月19日	ビック	「松江城を国宝にする市民の会」設立
	H21	10月4日	ビック	「お城サミット」(重文天守の所在地8都市)
	H21	10月22日	ビック	市長、島根県知事に支援要請
	H21	11月20日	ビック	市長、8市を代表して文部科学省中川副大臣と面談、国宝化要望
	H21	12月17日	ビック	島根県知事、文部科学省後藤政務官に「松江城国宝化」の要望
平成22年(2010)	H22	1月2日	ビック	「市民の会」が署名活動開始
	H22	2月1日	本	『京極忠高の出雲国・松江』 発行 (西島太郎著、松江市ふるさと文庫8)
	H22	2月15日	ビック	松江市観光振興部に松江城国宝化推進室設置
	H22	4月	【調査委】	「松江城調査研究委員会」設置を内定
	H22	4月～5月	【調査委】	「松江城調査研究委員会」予定委員に説明および就任依頼
	H22	5月14日	【調査委】	「松江城調査研究委員会」要綱設置
	H22	6月28日	【調査委】	松江城天守天狗の間の祈禱札調査
	H22	7月12日	【調査委】	◇第1回松江城調査研究委員会(@ホテル白鳥)
	H22	7月23～25日	【調査委】	第1回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)
	H22	7月24日	報告会	「松江城について考える市民の集い」開催
	H22	9月14日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」の編集方針、調査計画の検討)
	H22	9月19日	【市史】	◇松江城部会(絵図・地図部会)
	H22	10月6日	ビック	文化庁へ国宝指定の陳情(署名128,044人分提出)
	H22	10月13日	【調査委】	多門櫓の祈禱札調査
	H22	10月15～17日	【調査委】	第2回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)
	H22	10月20日	【市史】	◇松江城部会(建築小部会)
	H22	11月4日	【市史】	松江城石垣石材調査(@大井町岩汐石切場)
	H22	11月16～18日	【市史】	松江城石垣石材産地調査(先山専門委員)
	H22	11月23日	【市史】	松江城石垣調査(兼岡専門委員、@松江城)
	H22	11月28日	【調査委】	◇第2回松江城調査研究委員会(@都市センターホテル)
	H22	11月29～30日	【市史】	松江城下町遺跡調査(松尾専門委員)
	H22	12月3～5日	【調査委】	第3回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)
	H22	12月3日	【調査委】	天守地階保存古材から「富」の文字入り分銅紋の刻印を発見
	H22	12月10日	【市史】	◇松江城部会(城郭史小部会)
	H22	12月13日	【調査委】	◇第1回史料部会(@市役所防災センター)
	H22	12月24日	【市史】	松江城石垣石切場調査(@大井・大海崎石切場)
	H22	12月25～26日	【市史】	松江城下町遺跡調査(松尾専門委員・山上専門委員)
平成23年(2011)	H23	1月7～9日	【調査委】	第4回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)
	H23	1月8日	【調査委】	◇第1回建築史部会(@松江歴史館・松江城)
	H23	2月7日	【調査委】	◇第1回構造部会(@都道府県会館)
	H23	2月16日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」の構成の検討)
	H23	2月24日	【調査委】	鎮物等文線・赤外線撮影調査(@島根県埋蔵文化財調査センター)
	H23	3月3～4日	【調査委】	第5回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)
	H23	3月5日	【市史】	富田城石垣調査(兼岡専門委員、@富田城)
	H23	3月23日	【調査委】	◇第3回松江城調査研究委員会(@都市センターホテル)
	H23	3月24～25日	【市史】	三刀屋城調査(中井専門委員、@三刀屋城跡)
	H23	4月19日	【市史】	松江城石垣石切場調査(@大海崎・上本庄石切場)

H23	5月10日	【市史】	◇松江城部会(土木史グループ会)	◇松江城部会(土木史グループ会)	H23	5月10日	【市史】	丸亀市立資料館所蔵絵図調査(渡辺理絵専門委員・大矢専門委員)	
H23	5月11日	【市史】	◇松江城部会(建築史グループ会)	◇松江城部会(建築史グループ会)	H23	5月11日	【計画】	◇重要文化財松江城天守保存活用計画策定委員会(全体会)	
H23	5月14日	【市史】	松江城石垣調査(兼岡専門委員、@松江城)	松江城石垣調査(兼岡専門委員、@松江城)	H23	5月14日	【計画】	◇重要文化財松江城天守保存活用計画策定委員会(防災計画部会)	
H23	6月8～9日	【調査委】	第6回松江城調査 熊本城類例調査(西委員長・神奈川大学)	第6回松江城調査 熊本城類例調査(西委員長・神奈川大学)	H23	6月8～9日	【市史】	三刀屋城調査(中井専門委員、@三刀屋城)	
H23	6月10日	【市史】	◇松江城部会(城郭史グループ会)	◇松江城部会(城郭史グループ会)	H23	6月10日	【市史】	◇松江城部会(建築史グループ会)	
H23	6月21日	【市史】	武家屋敷建築調査(@武家屋敷)	武家屋敷建築調査(@武家屋敷)	H23	6月21日	【市史】	松江城関連山城調査(中井専門委員、@三沢城)	
H23	7月2～4日	【調査委】	第7回松江城調査 丸岡・彦根城類例調査(西委員長・神奈川大学)	第7回松江城調査 丸岡・彦根城類例調査(西委員長・神奈川大学)	H23	7月2～4日	【調査委】	塩札及び旧部材赤外線撮影調査(@島根県立古代出雲歴史博物館)	
H23	7月4日	【市史】	養益舎・武家屋敷長屋門建築調査(@養益舎・武家屋敷長屋門)	養益舎・武家屋敷長屋門建築調査(@養益舎・武家屋敷長屋門)	H23	7月4日	【市史】	◇松江神社で祈禱札発見	
H23	7月5日	【市史】	◇松江城部会(建築史グループ会)	◇松江城部会(建築史グループ会)	H23	7月5日	【市史】	◇松江城部会(松江城下町遺跡検討会)	
H23	7月11日	【市史】	◇松江城部会(建築史グループ会)	◇松江城部会(建築史グループ会)	H23	7月11日	【市史】	祈禱札赤外線撮影調査(@島根県立古代出雲歴史博物館)	
H23	7月21日	【市史】	◇松江城部会(建築史グループ会)	◇松江城部会(建築史グループ会)	H23	7月21日	【市史】	松江城石垣調査(兼岡専門委員、@松江城)	
H23	7月26日	【調査委】	旧部材年代測定サンプル採取(「富」入り分銅紋の刻印を持つ古材)	旧部材年代測定サンプル採取(「富」入り分銅紋の刻印を持つ古材)	H23	7月26日	【市史】	松江城関連山城調査(山上専門委員)	
H23	8月2～3日	【市史】	◇松江城部会(松江城下町遺跡検討会)	◇松江城部会(松江城下町遺跡検討会)	H23	8月2～3日	【市史】	梵字祈禱札赤外線撮影調査(@島根県立古代出雲歴史博物館)	
H23	8月3～4日	【調査委】	第8回松江城調査 犬山・松本城類例調査(西委員長・神奈川大学)	第8回松江城調査 犬山・松本城類例調査(西委員長・神奈川大学)	H23	8月3～4日	【調査委】	◇松江城部会(城郭史グループ会)	
H23	8月8～10日	【調査委】	第9回松江城調査 丸亀・松山・宇和島・高知城類例調査(西委員長・神奈川大学)	第9回松江城調査 丸亀・松山・宇和島・高知城類例調査(西委員長・神奈川大学)	H23	8月8～10日	【市史】	祈禱札一般公開(@松江歴史館、7月1日まで)	
H23	8月19日	【市史】	嫁が島調査(@嫁が島)	嫁が島調査(@嫁が島)	H23	8月19日	【市史】	◇松江城部会(土木史グループ会)	
H23	8月23日	ヒッ	「松江城を国宝にする松江市民の集い」開催	「松江城を国宝にする松江市民の集い」開催	H23	8月23日	【調査委】	◇第3回史料部会(@松江歴史館)	
H23	8月24日	報告会	第10回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)	第10回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)	H23	8月24日	【市史】	祈禱札写真撮影及び拓本採取(@松江歴史館)	
H23	8月23～25日	【調査委】	島根県立図書館史料調査(堀田専門委員)	島根県立図書館史料調査(堀田専門委員)	H23	8月23～25日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」の項目検討ほか)	
H23	9月1～2日	【市史】	第11回松江城調査 姫路・広島城類例調査(西委員長・神奈川大学)	第11回松江城調査 姫路・広島城類例調査(西委員長・神奈川大学)	H23	9月1～2日	【調査委】	松江城類例調査 弘前城(西委員長・神奈川大学)	
H23	10月22日	【市史】	松江城関連石垣調査(兼岡専門委員)	松江城関連石垣調査(兼岡専門委員)	H23	10月22日	【調査委】	松江城類例調査 備中松山城(西委員長・神奈川大学)	
H23	11月11日	【市史】	武家屋敷建築調査(@武家屋敷)	武家屋敷建築調査(@武家屋敷)	H23	11月11日	【市史】	◇第6回松江城調査研究委員会(@島根県市町村振興センター)	
H23	11月17～19日	【調査委】	第12回松江城調査 富田城(西委員長・神奈川大学)	第12回松江城調査 富田城(西委員長・神奈川大学)	H23	11月17～19日	【市史】	◇重要文化財松江城天守保存活用計画策定委員会(保存管理部会)	
H23	11月18日	【調査委】	◇第4回松江城調査研究委員会(@松江歴史館)	◇第4回松江城調査研究委員会(@松江歴史館)	H23	11月18日	【市史】	「松江城を国宝にする松江市民の集い」開催	
H23	11月25日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」の掲載史料および執筆項目の検討)	◇松江城部会(別編「松江城」の掲載史料および執筆項目の検討)	H23	11月25日	【市史】	「松江城について考える」開催	
H23	11月26日	報告会	松江城研究報告会	松江城研究報告会	H23	11月26日	【調査委】	資料調査(@雲南市大東町安達家)	
H23	12月12日	【調査委】	◇第2回史料部会(@松江市役所)	◇第2回史料部会(@松江市役所)	H23	12月12日	【計画】	資料調査(@雲南市大東町安達家)	
H23	12月20～21日	【市史】	松江城関連山城調査(中井専門委員、@赤名城)	松江城関連山城調査(中井専門委員、@赤名城)	H23	12月20～21日	【市史】	米子城・松江城石垣調査(兼岡専門委員、@米子城・松江城)	
H23	12月26～28日	【調査委】	第13回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)	第13回松江城調査(西委員長・神奈川大学、@松江城)	H23	12月26～28日	【市史】	犬山城・松本城調査(和田専門委員、@犬山城・松本城)	
平成24年(2012)				平成24年(2012)				H23	浜松城・二俣城石垣調査(兼岡専門委員、@浜松城・二俣城)
H24	2月13日	【市史】	◇松江城部会(建築史グループ会)	◇松江城部会(建築史グループ会)	H24	2月13日	【調査委】	三谷権大夫家文書整理	
H24	3月2日	【市史】	松江城関連石材調査(先山専門委員)	松江城関連石材調査(先山専門委員)	H24	3月2日	【調査委】	祈禱札打付け位置確認調査(@松江城)	
H24	3月3日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」の掲載史料および執筆項目の検討)	◇松江城部会(別編「松江城」の掲載史料および執筆項目の検討)	H24	3月3日	【市史】	市史講座(「江戸時代の松江の建造物」足立専門委員)	
H24	3月3～4日	【調査委】	第14回松江城調査 熊本城類例調査(西委員長・神奈川大学)	第14回松江城調査 熊本城類例調査(西委員長・神奈川大学)	H24	3月3～4日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」の項目検討ほか)	
H24	3月6～7日	【調査委】	「小瀬家譜」撮影調査(@金沢市立玉川図書館近世史料館)	「小瀬家譜」撮影調査(@金沢市立玉川図書館近世史料館)	H24	3月6～7日	【市史】	富田城調査(中井専門委員、@富田城)	
H24	3月21日	本	『松江城研究』1号発行	『松江城研究』1号発行	H24	3月21日	【調査委】	祈禱札打付け位置実地調査(西委員長、@松江城)	
H24	3月22日	【調査委】	◇第5回松江城調査研究委員会(@都市センターホテル)	◇第5回松江城調査研究委員会(@都市センターホテル)	H24	3月22日	【調査委】	丸亀城木札類例調査(@丸亀市立資料館・丸亀城)	

H28	6月7日	【市史】	◇松江城部会小部会		H29	2月7日	【世界遺産】	◇平成28年度第2回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会ワーキンググループ①(文化財保存計画協会)
H28	6月16日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)		H29	2月7日	【市史】	◇松江城部会小部会
H28	6月21日	【市史】	松江城文献史料検討会		H29	2月18日	報告会	市史講座(「松江城を掘るー地下に眠る松江城の歴史ー」岡崎専門委員)
H28	6月25～26日	【市史】	◇松江城部会(城郭史グループ会)		H29	2月19日	【市史】	◇松江城部会
H28	6月29日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)		H29	2月20日	【世界遺産】	◇第3回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会(犬山市役所)
H28	7月1日	【市史】	◇松江城部会小部会		H29	3月11日	本	『石垣と瓦から読み解く松江城』発刊(乗岡 実著、松江市ふるさと文庫19)
H28	7月8日	【市史】	武家屋敷 建物調査		H29	3月20日	報告会	第4回松江城調査報告会(市民活動センター)
H28	7月14日	【調査委】	堀尾吉晴公共同研究打合せ会(松江市・安来市・大町町、@松江市役所)		H29	3月26日	【市史】	松江城石垣調査(乗岡専門委員・先山専門委員、@松江城)
H28	7月15日	【市史】	清原家 建物調査		H29	3月27日	本	『松江城調査研究集録4』発刊
H28	7月22日	【市史】	小泉八雲旧居 建物調査		H29	3月	【計画】	『史跡松江城保存活用計画』策定
H28	7月24日	【市史】	◇松江城部会小部会		H29	4月14～15日	【市史】	松江城石垣調査(澤田専門委員、@松江城)
H28	8月7日	【市史】	◇松江城部会小部会		H29	4月18日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」第9章検討会)
H28	8月20日	報告会	市史講座(「近世城郭と城下の空間設計を考えるー松江城と姫路城の事例からー」堀田専門委員)		H29	5月17日	【世界遺産】	◇第4回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会(松本市役所)
H28	8月21日	【市史】	◇松江城部会		H29	6月14日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)
H28	9月29日	【市史】	◇松江城部会小部会		H29	7月15日	報告会	市史講座(「初期松江城天守の形態と千鳥破風」和田専門委員・稲田史料編纂課長)
H28	9月30日	【計画】	◇第4回史跡松江城保存活用計画策定委員会(松江市役所)		H29	7月16日	【市史】	◇松江城部会
H28	10月10日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)		H29	7月21日	【世界遺産】	◇平成29年度第1回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会ワーキンググループ②(文化財保存計画協会)
H28	10月10～11日	【調査委】	山田委員による天守模型調査(@松江歴史館・松江城天守)		H29	7月25～26日	【市史】	松江城石垣調査(澤田専門委員、@松江城)
H28	10月19日	【調査委】	堀尾吉晴公共同研究会(松江市・安来市・大町町、@松江市役所)		H29	8月4日	ヒック	平成30年度景知事要望提出(松江城の世界文化遺産登録に向けた取り組みへの協力について)
H28	10月21日	【世界遺産】	◇第2回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会(松江市役所)		H29	8月9日	【市史】	◇松江城部会小部会
H28	10月21日	報告会	市史講座(「写真でたどる松江城とその周辺」和田専門委員・伊藤専門委員)		H29	9月4～5日	【市史】	松江城石垣調査(澤田専門委員、@松江城)
H28	10月25日	松江城天守塩札の文化財指定諮問(平成28年度第10回教育委員会会議)		H29	9月16日	報告会	市史講座(「特色ある松江市内中世城館」山根専門委員)	
H28	11月1日	【調査委】	◇第12回松江城調査研究委員会(都市センターホテル)		H29	9月17日	【世界遺産】	日本イコモス国内委員会拡大理事會役員との意見交換会(まつもと市民芸術館)
H28	11月20日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)		H29	9月19日	ヒック	共同企画特別展「松江城と江戸城ー国宝になった城と天下人の城ー」開会(同日比谷図書館 文化館 ～11月19日)
H28	12月4日	報告会	松江城天守国宝指定1周年記念シンポジウム(ウイールあいち)		H29	10月17日	【世界遺産】	◇第5回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会(松江市役所)
H28	12月18日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)		H29	11月5日	報告会	山田由香里委員講演「松江城天守と雛形」(共同企画特別展開連講座、@日比谷ペンションホール)
H28	12月20日	【市史】	◇松江城部会小部会		H29	12月11日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)
H28	12月17日	【計画】	◇第5回史跡松江城保存活用計画策定委員会(松江市役所)		平成30年(2018)			
H28	12月24日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)		H30	1月5～6日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)
平成29年(2017)					H30	2月9日	【世界遺産】	◇平成29年度第2回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会ワーキンググループ③(文化財保存計画協会)
H29	1月13日	【市史】	◇松江城部会(執筆原稿協議 岡崎専門委員・松尾専門委員)		H30	2月19日	【世界遺産】	◇第6回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会(犬山市文化史料館)
H29	1月14～15日	【市史】	松江城石垣調査(乗岡専門委員、@松江城)		H30	3月16日	本	『松江城関係資料集』松江城天守実測図』発刊
H29	1月14～16日	【市史】	松江城石垣調査(澤田専門委員、@松江城)		H30	3月22日	【調査委】	◇第13回松江城調査研究委員会(都市センターホテル)
H29	1月15日	【市史】	◇松江城部会(別編「松江城」査読検討会)		H30	3月23日	本	松江市史別編「松江城」発刊
H29	1月18日	【市史】	◇松江城部会小部会					

H30	3月24日	報告会	市史講座（「松江城をめぐる諸問題と今後の展望－松江市史別編『松江城』の出版に併せて」西尾部会長・中井専門委員・和田専門委員・河原専門委員）
H30	3月25日	報告会	第5回松江城調査報告会（@市民活動センター）
H30	3月25日	【市史】	◇松江城部会（別編『松江城』発刊について）
H30	3月26日	本	『松江城調査研究集録5』発刊
H30	5月1日	【調査委】	天守古材調査指導（和田嘉寿委員・山田由香里委員、@松江城）
H30	5月14日	【世界遺産】	◇第7回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会（@島根県東京事務所）
H30	6月5日	ドック	松本・犬山・松江市3市長による文化庁への要望書提出（文化庁）
H30	6月8日	【調査委】	天守古材赤外線撮影（7月4日も）
H30	7月13日	【世界遺産】	◇平成30年度第1回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会ワーキンググループ（@文化財保存計画協会）
H30	7月17日	【調査委】	天守古材樹種同定調査（～2月22日、@松江城）
H30	7月20～21日	【市史】	松江城石垣調査（澤田専門委員、@松江城）
H30	7月21日	報告会	市史講座（「武家屋敷の修理と復元」足立専門委員）
H30	8月21日	ドック	平成31年度県知事要望提出（松江城の世界文化遺産登録に向けた取り組みへの協力について）
H30	9月2日	【市史】	◇松江城部会
H30	10月12日	【世界遺産】	◇第7回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会担当者打合せ会議（@彦根市）
H30	10月22日	【調査委】	天守古材実測図作成（～11月12日、@松江城）
H30	10月23～25日	【世界遺産】	ICOFORT国際会議in彦根への参加（@ひこね市文化プラザ）
H30	10月29～30日	【世界遺産】	ICOFORT委員長等との意見交換会／近世城郭の天守群の価値を検討する国際専門家会議（@松本市立博物館・まつもと市民芸術館）
平成31年(2019)			
H31	1月31日	【世界遺産】	◇平成30年度第2回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会ワーキンググループ（@文化財保存計画協会）
H31	2月19日	【世界遺産】	◇第8回近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会担当者打合せ会議（@大山市）
H31	3月22日	【調査委】	◇第14回松江城調査報告会（@島根県市町村振興センター）
H31	3月23日	報告会	第6回松江城調査報告会（@市民活動センター）
H31	3月27日	本	『松江城調査研究集録6』発刊
H31	3月27日	本	『松江城関係資料集2 松江城天守古材調査記録』発刊

産経ニュース

2015.6.17 07:00

【関西の議論】松江城"執念"の軌跡 国宝再指定を決めた「祈禱札」の発見 “格下げ”から65年、ついに悲願達成

松江市のランボル。「松江城天守」が国宝に指定されることになった。昭和25年の文化財保護法施行で国宝から重要文化財に“格下げ”されてから実に65年…。江戸時代初期に完成したことを証明する祈禱札の発見が決み手になり、国の文化審議会が文部科学相に改めて国宝に指定するよう答申した。長年の悲願が達成された瞬間、浦口善兵衛・島根県知事と松浦正敏・松江市長ら市民約250人が天守前に集まり喜びを分かち合った。市民らによる署名活動など官民が一体になって運動を繰り広げた絆を曲折の道りを振り返った。（福本剛）

数奇な運命たどり、高いハードルが待ち構え

「60年余りのときを経て、国宝になることが大変うれしい。いろんな思いが結実し、今日に至った。悲願が達成された」

5月15日夜、雄大な松江城天守を背景に開かれた国宝指定答申の報告会で、松浦市長は顔を紅潮させながらこう語った。

松浦市長が感涙に浸るのも無理はない。

松江城は昭和10年、国宝保存法により国宝に指定された。しかし、戦後の同25年の文化財保護法施行で国宝指定の基準が変わり、判然としない歴史的事実が多いなどとして松江城は重要文化財にとどまった。以来、松江市は何度も国宝指定の陳情を行ってきた。

松江市議会も国宝指定促進の決議を採択。遅々として進まない状況に市民らも立ち上がり、平成21年に「松江城を国宝にする市民の会」を設立。翌22年には文化庁に約1.2万8千4名分の署名を提出した。

数奇な運命をたどってきた松江城の国宝指定は、まさに官民一体となった悲願だった。藤岡大拙・市長の会長（82）は「結果的に、市民らの熱意がポティーンローのように効いてきた」と振り返る。

だが、それだけの署名を集めても、国宝指定を受けるとハードルは非常に高かった。というのも、文化庁に署名簿を提出した際、「今後は新しい知見の発見に努めてください」と伝えられたからだ。

「新しい知見は、いつ発見できるかからない。『道は遠い』というのが正直な思いで、国宝指定は難しいと思っていた」と藤岡さんは話す。

懸賞金かけて“お宝探し”も新たな難問が…

一方、市側も重文から国宝に引き上げるためには新しい知見が必要だということは認識していた。22年には市の組織に「松江城国宝化推進室」を立ち上げ、専門家らによる松江城調査研究委員会が松江城の価値についての調査、分析を進めた。

中でも、市がよりどころとしたのが、昭和12年の調査では存在したと記録に残っている松江城天守創建に関わる2枚の祈禱札。天守が完成したと伝わる「慶長16（1611）年」を裏付ける文書が書かれてあったというが、行方不明になっていた。そこで、市は平成23年4月、市民の協力を得るために懸賞金500万円を掲げて情報提供を呼びかけた。

翌24年5月に、その“執念”が実現した。市史料編纂室の職員が、松江城近くの松江神社で調査していたところ、「慶長十六」などと墨書きされた2枚の棟札を発見した。神社は明治時代の創建で、棟札は明らか時代が異なる。市が探し求めていた祈禱札かもしれないとの期待が膨らんだが、札には肝心の松江城を表す文書は確認できなかった。

ト部吉博・市松江城国宝化推進室長は「松江神社で発見された祈禱札が、松江城のものであることを証明しなければならぬ。（札のあった場所を見つげるため）実際に城の柱一本一本に当てはめる作業が必要になる。気が遠くなるようだった」と新たな難問にぶつかったときの心境を明かす。

“国宝効果”できめん、観光客急増

くぎ穴やしみの跡などを調べながら柱に祈禱札を当てはめる作業に乗りだしたが、意外に早く問題は解決した。

地階で目についた1本目の天守の柱に祈禱札を合わせてみると、ピタリとはまった。続いて、ちょうど向かい側に位置する同じ階級くらいの柱で、2枚目の札が一致することが確認された。「松江城のものに間違いない」とト部さんらは確信した。

この結果、松江城天守が完成したのは「慶長16年」と確定し、同時に文化庁が求める新知見の発見という条件もクリア。市民らの悲願だった国宝指定への道が開けた。

松江城調査研究委員会はさらに調査を進め、城の構造で2階分の通し柱を多用し、島根県安来市にあった富田城の部材を一部使用していることなどを突き止めた。中世から近世に向かう城の特徴を立証し、松江城の歴史の価値をさらに高めた。

こうした喜慶一体の取り組みで成し遂げた松江城の国宝指定、“国宝効果”はてきめんで、答申後初の週末となった5月16と17の両日で前週の約1.8倍の3665人が訪れた（松江城山公園管理事務所調べ）。また、松江城を紹介するホームページも、答申当日の15日だけで通常の10倍超ものアクセスが集まった。

島根県では、出雲大社（出雲市）の約60年に一度という遷宮のクライマックス「本殿遷座祭」が25年5月に終わり、観光効果も徐々に落ち蓄積している。

【関西の議論】松江城"執念"の軌跡 国宝再指定を決めた「祈禱札」の発見 “格下げ”から65年、ついに悲願達成、産経ニュース
藤岡（ささき）修一・松江観光協会会長（85）は「遷宮が一段落したときに、今回のめでたい話。城の美しさは変わらぬが、『国宝』のインパクトは相当なもの」と期待を込める。

城周辺を巡る遊覧船の歴史には「祝 松江城国宝へ」の横断幕が掲げられるなど、祝福ムードが広がるなか、松江城の新しい歴史が始まるようとしている。

©2015 The Sankei Shimbun & SANKEI DIGITAL All rights reserved.



松江城天守の国宝化が望まれ、天守前でハンデイクイをして祝う関係者ら = 5月15日、松江市

2019年7月31日

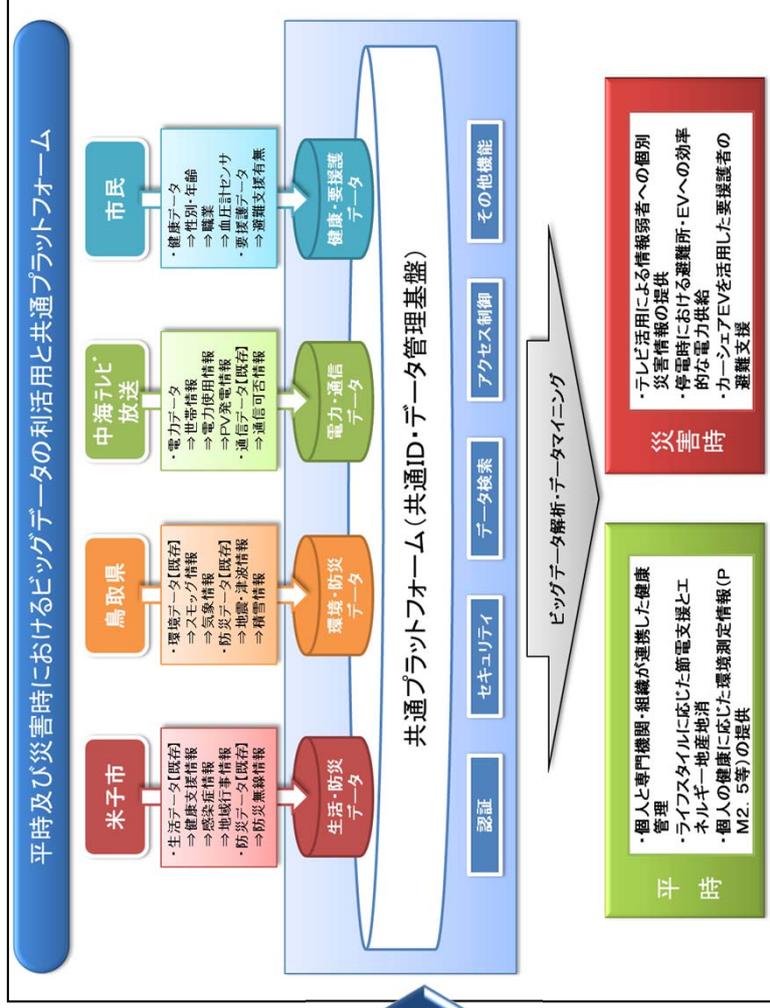
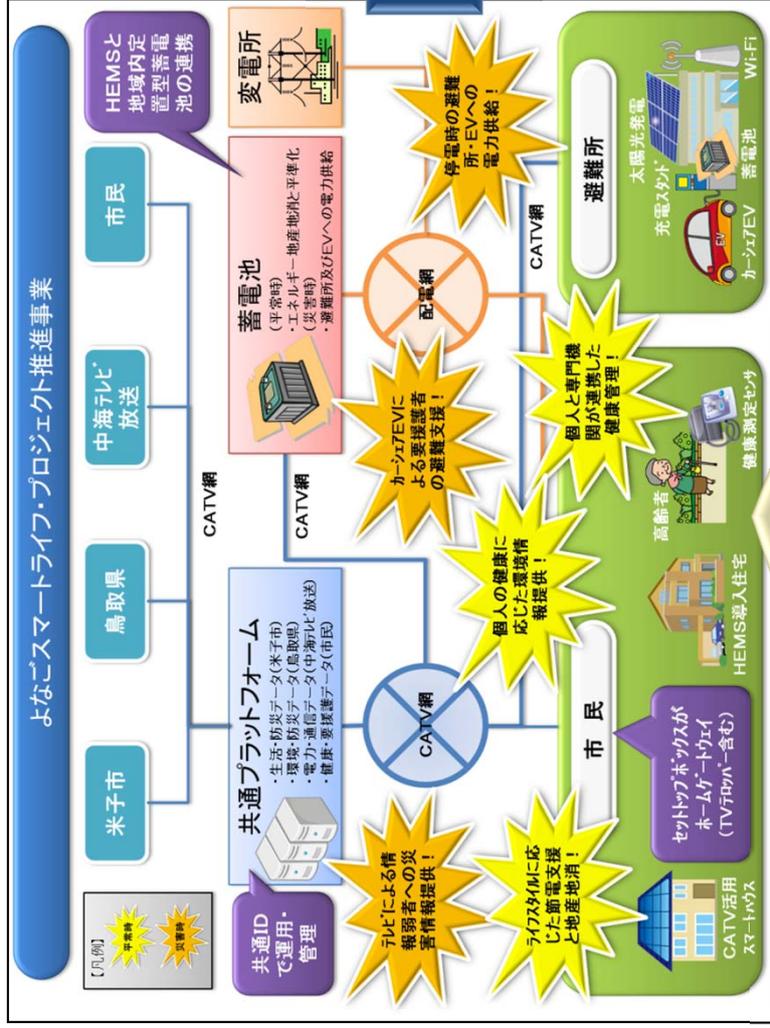
○鳥取県米子市

「よなごスマートライフ・プロジェクト推進事業」

「学校図書館支援と連携」

よなごスマートライフ・プロジェクト推進事業

提案者	米子市、(株)中海テレビ放送、NTTコミュニケーションズ(株)、国立米子高専、鳥取県
実施地域	鳥取県米子市
事業概要	「鳥取発次世代社会モデル創造特区」で推進しているEV、及びHEMS（電力センサ）、TVテロップ、太陽光発電、蓄電池、EV充電スタンド、健康測定センサと、CATVネットワーク、共通データ管理基盤により、平常時は個人毎の健康管理と節電支援・エネルギー地産地消、災害時は災害情報の早期提供と電力供給、要援護者支援を行う。



【想定災害】
 ・平成12年鳥取県西部地震
 ・平成23年豪雪(通称:山陰豪雪)
 ・平成23年東北地方太平洋沖地震

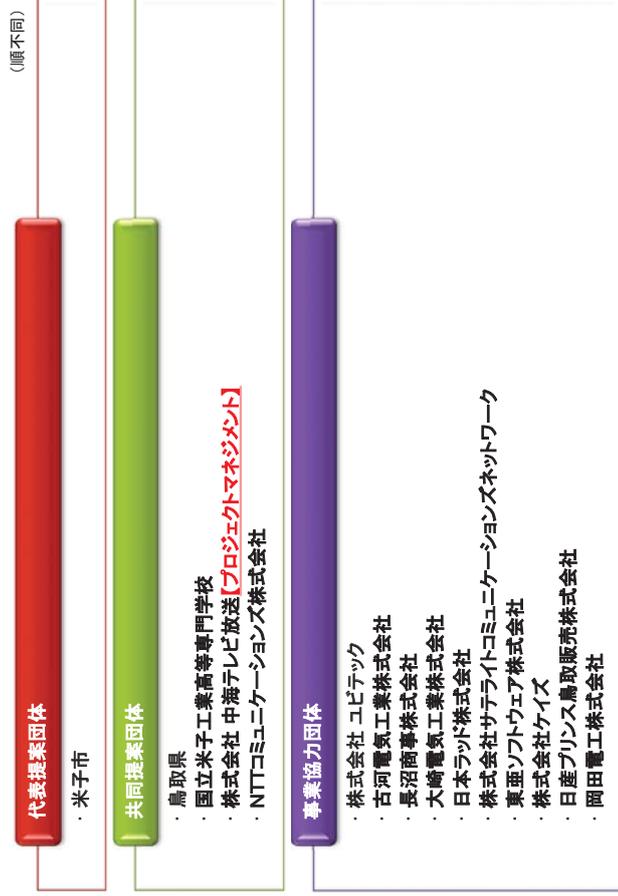
自治体(米子市・鳥取県)とケーブルテレビ局、市民が、平常時・災害時にビッグデータ及びICT(共通ID・共通プラットフォーム)を活用して連携することで、放送・通信・エネルギーの融合による新たな生活価値を創出することを目的！

よなごスマートライフ・プロジェクト 推進事業の取り組み紹介

平成26年5月14日(水)

代表提案団体 米子市
プロジェクトマネジメント  中海テレビ放送

地元の産官学と県外企業の連携により事業実施



事業概要

事業目的は、新たな生活価値を創出すること

本委託事業では、以下に示す住民サービスに関する実証プロジェクトを実施することで、**自治体とケーブテレビ局、市民が、平時・災害時にICTを活用して連携し、放送・通信・エネルギーの融合による新たな生活価値を創出すること**を目的とする

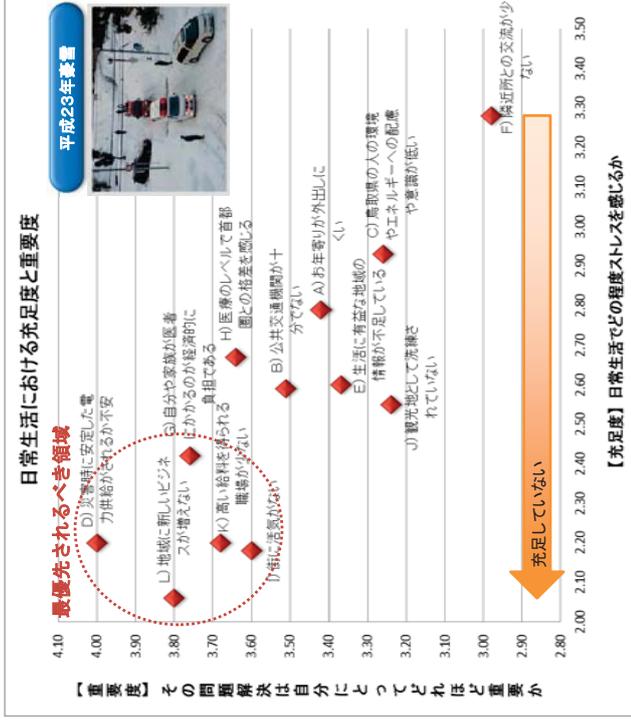
平時

- ・ ライフスタイルに応じた節電支援とエネルギー地産地消
- ・ 個人と専門機関が連携した健康管理
- ・ 個人の健康に応じた環境測定情報提供

災害時

- ・ テレビによる情報弱者への個別災害情報提供
- ・ 停電時の避難所・EVへの電力供給
- ・ カーシェアEVによる要援護者の避難支援

地域の課題は、災害時の電力供給と健康づくり



特区事業ではe-モビリティ交通サービスを推進

【目標】生活者視点に立った鳥取発次世代社会モデルを適用し、地域の強みと住民のニーズを独自のビジネスモデル構築手法により結びつける取組を展開することで、新たな生活価値の実感を得られる新たな事業を創出する
 ▶ 新たな生活価値に基づいたサービス等の提供により、地域住民の「暮らしの豊かさ」に対する意識(満足度)の向上を図る



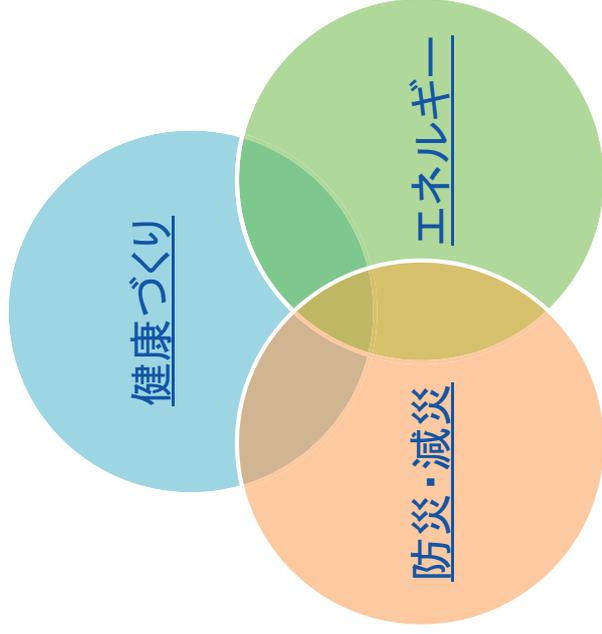
達成目標は「とっとり幸せの感じ方指標値」2.5ptアップ

- 「とっとり幸せの感じ方指標値」とは、鳥取発次世代社会モデル創造特区において“暮らしの豊かさ”を指標化したもの
- 2.5ptアップは、特区事業における目標(7.5ptアップ)の1/3を達成する水準



実証プロジェクトの紹介

本事業における3つのキーワード



市内60世帯に実証機器を設置



体組成計

血圧計

活動量計

タブレット端末



HEMS



赤外線学習リモコン



TVデロツパー

実証プロジェクトの実施結果

①エネルギー分野

蓄電池充電により30分同時同量を達成

- HEMSと連動した蓄電池充電システムの運用実証



13

電力センサを検定済スマートメーターに更新

- 1分間隔でのデータ取得
- 機器設置や通信状況等に関する課題を把握

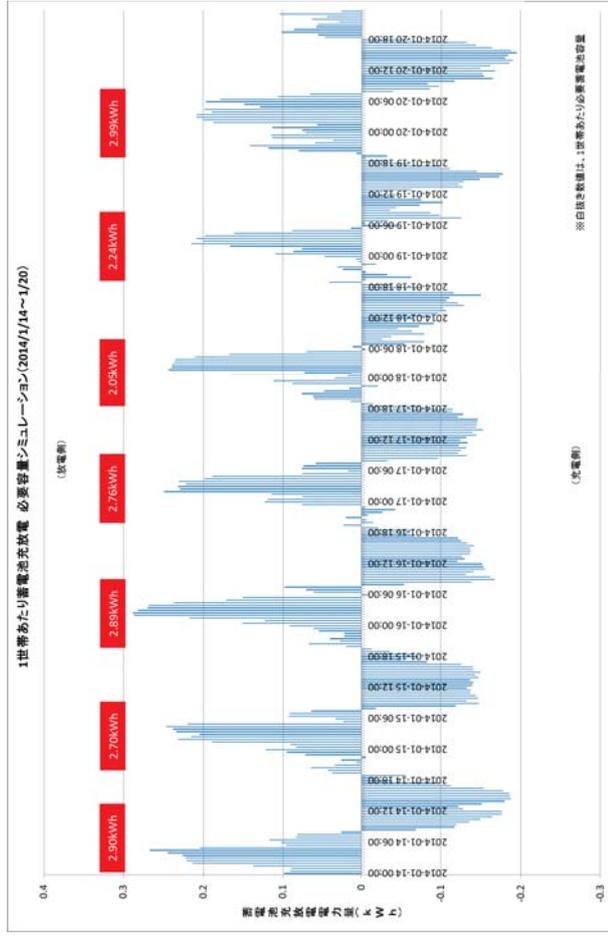
電力センサ



スマートメーター



住宅用蓄電池であれば3kWh程度の容量が必要



14

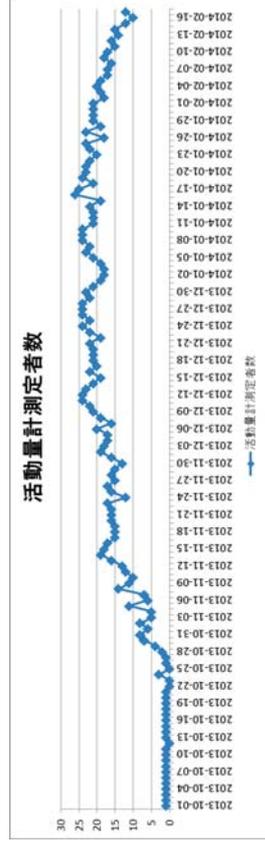
②健康づくり分野

15

16

最も利用頻度が多かったのは活動量計

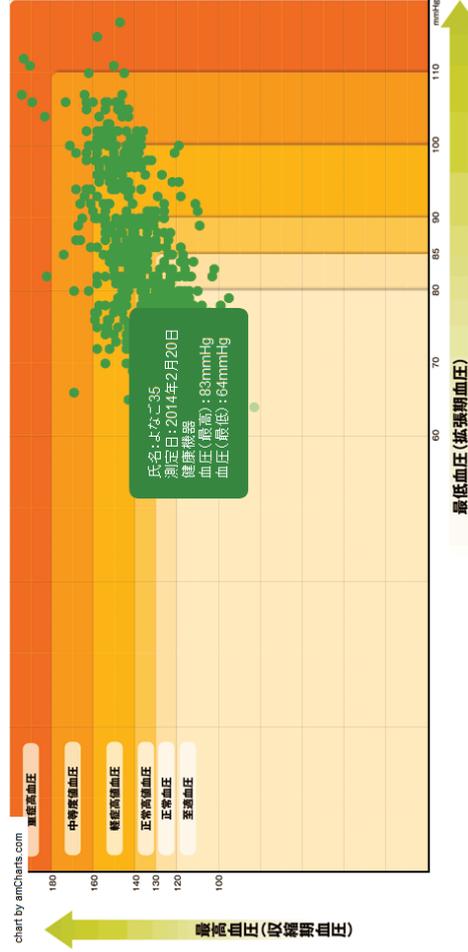
- 商用サービスとして利用する可能性があるのは全体の42.5%の割合(利用希望金額:平均562円/月)
- ただし、データ登録方法に課題あり(自動データ登録のニーズが高い)
- ランキング形式の導入によるゲーム性の付加は好評



17

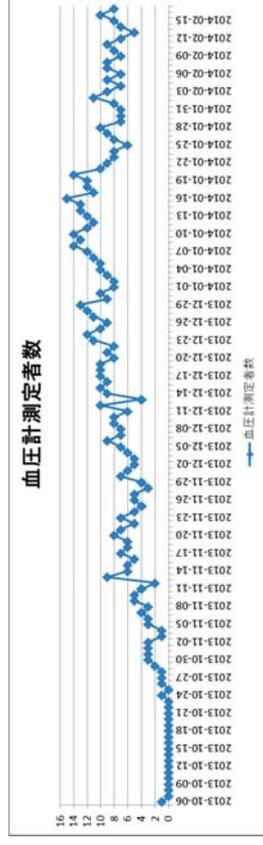
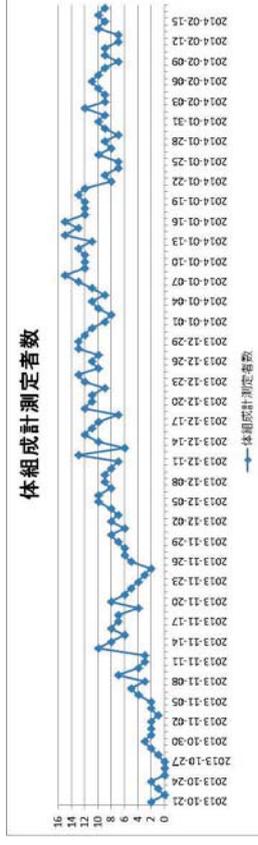
未病データは医療機関でも貴重なデータ

- 医療機関と連携したサービス化の可能性を確認



19

体組成計や血圧計は必要性の高い人が継続利用



18

③防災・減災分野

20

停電時を想定し、市役所災害対策本部へ電力供給

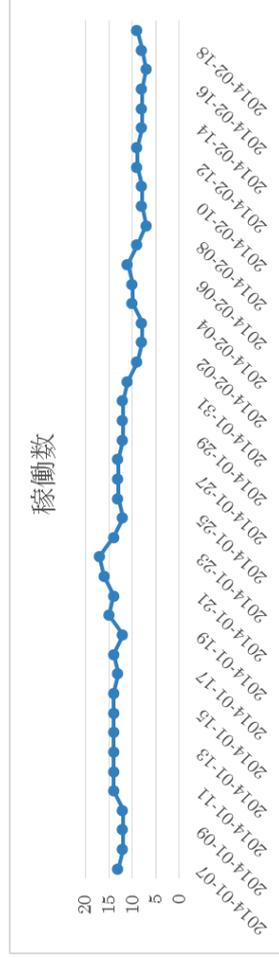
- 最大3kW使用で約2日分の蓄電容量を常時確保



21

災害時には多様な情報発信手段が必要

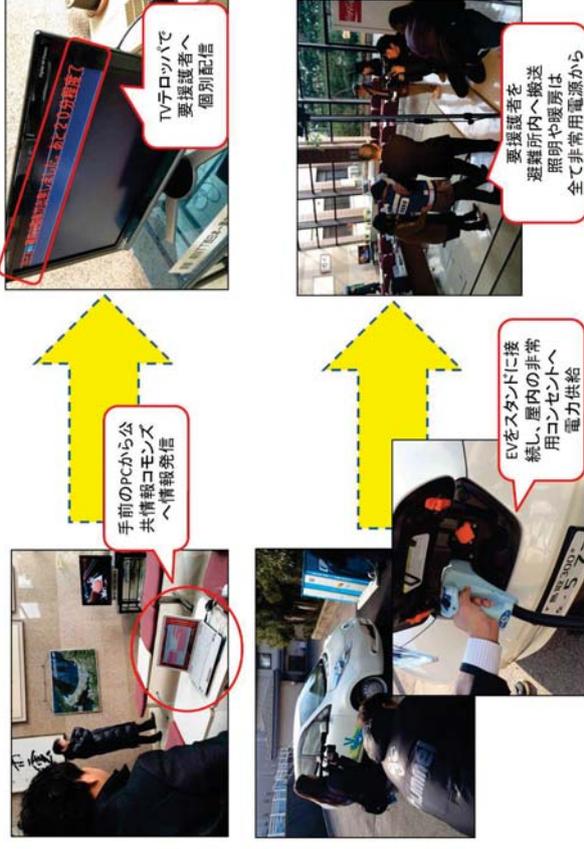
- TVテロップパーで災害情報が届くのは、最大で設置世帯の25%程度
- 行政防災無線のほか、放送や通信等を用いた多様な情報発信手段が必要(データ放送、HP、メール、SNS等)



23

停電時を想定し、淀江支所（避難所）へ電力供給

- 電気自動車が、要援護者・避難物資と電力を運ぶ



22

④共通プラットフォーム

24

学校支援

ホーム 学校支援 学校図書館支援について

学校図書館支援について

学校図書館支援と連携 ～子どもたちの読書による 学び・成長を支援します～

米子市小中学校図書館の人員配置

図書職員(専任)

平成9年度から平成12年度にかけて市内小・中・
養護学校(全34校)に図書職員が配置されました。
(平成17年に淀江町と合併して市内全35校に配
置)

司書教諭の発令(兼任)

市の公用車による配本・回収システムの確立 (平成13年度から現在まで)

市役所の既存の業務として公用車による文書の配
送(市内小中学校・公民館等に公用車が巡回)を行
っていて、そのシステムに、米子市立図書館か
ら、市内小・中学校図書館へのリクエスト貸出図
書を加えることにより、効率的に図書が学校へ配
送するシステムが確立されました。

市役所担当課、市立図書館、市内小・中学校が連
携しながら、現在も継続して行われています。
平成16年度より学校間のリクエスト貸出も加わ
り、米子市立図書館を中継にしてこのシステムで
配本・回収しています。

学校図書館へのリクエスト貸出と長期貸出

リクエスト貸出(通常)

平成13年度～週4日配本・回収。
「テーマリクエスト」あるいは「書名リクエ
スト」の申込み方法があります。
専用の申込書にて、ファックス・Eメールで受
付します。

テーマリクエストの場合は、テーマに沿った内
容の図書を図書館が準備し専用袋に入れ、市の
公用車によるメール便で学校へ送ります。
学校に届いた図書は学校図書館を通じて、授業
や個人学習、読書に活用されます。

- ・ 貸出期間：4週間
- ・ 貸出冊数：制限を設けていません。



リクエスト受付



リクエスト貸出の準備

申込みのあったテーマ・書名で本を発送専用袋に入れます。



発送専用袋



公用車への積み込み
その日の配送を終え
た公用車が米子市立
図書館に寄り、翌日
配送する図書を回収
します。

長期貸出(学期単位)

平成13年度～学期ごとまたは学期末に配本・
回収。

コンテンツ1箱40冊単位でセット貸出していま
す。
学期単位の長期貸出は、小学校に対し、児童数
を目安に、学期または1年間貸出をします。
学級文庫として主に朝の読書活動に利用されま
す。

- ・ セット内容：高読・中読・低読・絵本
学校支援室で長期貸出用図書のセット組を行
います。
- ・ 市の公用車(トラック)で全小中学校に配本・回
収します。
米子市教育委員会事務局総務課・生涯学
習課が担当で配本・回収します。



学校支援室での長期貸出のセット組と公用車(ト
ラック)による図書の配本

©こうした、市の公用車によるリクエスト貸
出・長期貸出の配本・回収を「米子方式」と呼
んでいます。
市役所担当課・市立図書館・市内小中学校が連
携し物流の確保を継続して行っています。

学校図書館のデータベース化

平成13～15年度、米子市小・中・養護学校全校および米子市児童文化センターの所蔵図書データ入力が完了。

学校図書館業務が電算化され、学校間の資料検索が可能になりました。

平成15年11月、学校間の相互貸借についても、市の公用車によるメール便を利用し配本されるようになりました。

米子市立図書館が中継地となっています。

平成20年9月、学校図書館業務システムのレベルアップにより、パソコン上で学校間のリクエスト貸出の申込みが可能となりました。

現在学校間貸出はさらに活発に行われています。

「ふるさと米子探検隊」の発行と郷土資料の収集・提供

郷土について調べるブックレットです。(現在第16号)市内全小・中学校の教室・図書館に配布し、発行のたびにファイルに加えてもらいます。米子城、米子の民話、川とくらし、大山入門(自然編)、米子の産業、かんきょう教室などのテーマでまとめています。

さらに詳しく調べられるよう、市立図書館郷土資料コーナーに所蔵している参考資料の紹介や貸出を行っています。



図書館見学の受入れ

申込みのあった学校に対し、館内案内・利用ガイダンス・読み聞かせなどをしています。



学校図書館研修会

教育委員会学校教育課主催で市立図書館を会場に実施しています。

- 。図書職員研修(年7回/25年度実績)
- 。同書教諭との合同研修(年2回)



学校支援関係 講演・視察受入記録

職員による講演

- 。平成18年6月1日 島根県公共図書館協議会(松江合同庁舎)
- 。平成18年7月28日 出雲市斐川町学校図書館研修会(斐川町立図書館)

県外図書館からの視察

- 。平成19年8月17日 島根県邑智郡川本町かわもと図書館 (10名)
- 。平成19年8月23日 東京都墨田区議員団
- 。平成19年11月29日 宮崎市佐土原町
- 。平成20年2月8日 滋賀県守山市議員団
- 。平成20年4月17日 奈良県橿原市議員団
- 。平成20年11月4日 長野県上田市議員団
- 。平成21年5月27日 北海道苫小牧市議員団
- 。平成21年7月9日 岡山市議会議員(1名)
- 。平成21年8月21日 島根県雲南市(20名)
- 。平成21年11月19日 長野県東御市議員団(5名)
- 。平成22年2月3日 広島県尾道市議員団(3名)
- 。平成22年2月9日 京都府福知山市議員団(3名)
- 。平成22年4月21日 山梨県甲州市議員団(5名)
- 。平成22年8月19日 千葉県野田市議員団(5名)
- 。平成22年10月5日 愛媛県新居浜市学校・市立図書館関係者(9名)
- 。平成23年10月19日 群馬県館林市議会議員団(9名)
- 。平成23年10月26日 福島県喜多方市議会議員(7名)
- 。平成25年11月12日 鈴鹿市議員団(5名)
- 。平成26年5月15日 千葉県白井市議員団(4名)
- 。平成26年8月29日 島根県大田市教育委員会
- 。平成26年10月21日 静岡県伊東市議会議員団(7名)
- 。平成26年11月19日 滑川市議員団(4名)
- 。平成27年7月1日 喜多方市議会議員団(7名)
- 。平成27年11月19日 東京都足立区議員団(4名)
- 。平成28年4月26日 青森県八戸市議会(3名)
- 。平成29年5月9日 千葉県白井市議員団(4名)



米子市立図書館

〒683-0822 鳥取県米子市中町
8番地

TEL 0859-22-
2612

FAX 0859-22-
2637

移動図書館車 つつじ号
雑誌スポンサー
伯耆文化研究会

●開館時間

火～金/9:00～19:00
土日祝/10:00～18:00

●休館日

月・月末・年末年始・特別資料整理期間

ご意見・お問い合わせ